

# 長島



# 加藤



# スピード 男子500



男子500メートルで銀メダルを獲得した長島圭一郎



銅メダルの加藤条治

【バンクーバー共同】バンクーバー冬季五輪第4日の15日(日本時間16日)、スピードスケート男子500メートルで長島圭一郎(27)が日本電産サンキョー

が1分9秒98で銀メダル、加藤条治(25)が1分10秒01で銅メダルを獲得した。今大会の日本選手団初メダルで、ともに五輪で初のメダル



# 日本勢初メダル



〒030-0180  
青森市第二問屋町3丁目1番89号  
東奥日報社  
電話 017-739-1111  
(C)東奥日報社 2010

インターネット  
号外

購読の  
お問い合わせは

東奥日報社読者局

017-739-1111

24時間受付

詳細は朝刊で

トリノの雪辱

ともに日本電産サンキョーに所属し、いずれも前回トリノ五輪では辛苦杯を喫した。日本のお家芸500メートルの伝統を引き継いだ2人が、2度目の五輪でそろって悲願のメダルをつかんだ。長島はトリノでは13位と惨敗し「すべてにおいて力不足」と涙を流した。巻き返しの4年間、筋力強化で体重は4年前から5キロ増えた。勝負どころの弱さが課題だったが、バンクーバーでは1回目6位から2回目はトップの快走で巻き返し、2位に食い込んだ。

加藤は、金メダル候補として乗り込んだ初めての五輪では6位。「ちやほやされて、負けて。格好いいものじゃない」と自分への腹立たしさだけが残った。その後、長島が台頭し、日本のトップの座も揺らいだ。昨冬は「(競技を)やめなさいいけないと考えた」ほどの絶不調に苦しんだ。